

2025.5.15 安心空間とは

昨日、年中のS男とY男が昼遊びの時に藤棚でコンテナボックスの中に何かを入れていました。

何を入れているかというと、自分で作ったカメラ、手につける武器、さんぽ図鑑、縄跳び、水筒、虫メガネ、本3冊、藤の葉っぱでした。

そして、「先生、ぼく、この場所で明日もしたいからこの箱の中にいれておいてもいい?」とS男が聞いてきました。S男はこの藤棚で自分のお気に入りのものを並べて、お家ごっこをするのが最近のお気に入りです。

教師は「もちろん、いいよ!」と答えると、「やったー!」とそっと蓋を閉めようとします(水筒は一応出しました)。そこにY男が「これもいれようよ!」と砂を持ってきます。「いいね!いいね!」とS男。さらにY男は「この虫もいれよ!」と捕まえた虫をカップにいれて持ってきます。でもS男は「こんなか入れるといきできなくなっちゃうよ。かわいそう」ととめます。そして、コンテナボックスの蓋をガムテープでしっかりと留めました。

S男は、4月年中から入園してきました男の子。入園して約1か月。

最初は周りに知らない子ばかりで少し不安そうでした。でも探検図鑑と出会うと毎日持つようになり、お気に入りのカメラを作ると毎日持つようになりますと日々持つものが増えていきました。気付いたら紙袋もいっぱい!それと同時にS男の笑顔が増えていきます。最近では朝登園して朝の準備を終えると、すぐに赤白帽子をかぶり、それらが全部入った紙袋を持ち、外へ行く準備をしているS男。

そして、次は藤棚という自分のお気に入りの場所と出会いました。コンテナボックスにお気に入りを全部入れ、明日の朝を楽しみに部屋に戻っていく姿を見ながら、S男なりの居場所、安心空間に出会いつつあるのかなと考えていました。

S男だけでなく、きっと他の子供たちもそうなのでしょう。たとえ進級児であっても、環境が変わりその子なりに不安感、緊張感があったと思います。でもその中で、年少の時の経験も思い出しながら、「明日も泥団子作ろうね!」「恐竜ショー楽しかった!明日はアンキロサウルスも作ろ!」「今日、この宝石持って帰るんだ!」「こんなところにテントウムシの幼虫いたよ!」「ゼにくん(飼育しているゼニガメ)、また明日ね!」などと新たな環境や遊びとの出会いの中で、自分の好きなモノ、やりたいコト、行きたい場所をその子なりに見つけ、明日も園に行きたいと思う。園が、保育室が、少しずつその子なりの安心空間となっていく。そのような一人一人にとつての遊び、環境、空間をこれからも大切にしていきたいなと思います。

何気ない姿かもしれません、S男の様子を見ながら、改めてそのように感じました。

